



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日

上場会社名 大豊工業株式会社 上場取引所 東証・名証各1部  
 コード番号 6470 URL <http://www.taihonet.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長(氏名) 上田 建 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長(氏名) 都 甲 仁 (TEL) (0565)28-2225  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	18,943	39.4	690	—	764	—	348	—
22年3月期第1四半期	13,591	△49.0	△1,195	—	△962	—	△783	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	12.40	11.06
22年3月期第1四半期	△27.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	87,363	43,187	48.9	1,523.27
22年3月期	87,527	43,010	48.7	1,517.69

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 42,757百万円 22年3月期 42,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	38,000	23.9	1,350	—	1,450	—	800	—	28.50
通 期	75,000	6.5	2,200	51.2	2,400	26.2	1,550	343.1	55.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規\_\_社 (社名 ) 除外\_\_社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	28,222,657株	22年3月期	28,222,657株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	152,922株	22年3月期	152,767株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	28,069,815株	22年3月期1Q	28,070,276株
----------	-------------	----------	-------------

#### \*四半期レビュー手続の実施状況に関する開示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### \*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P 2
2. その他の情報.....	P 3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	P 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	P 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	P 3
3. 四半期連結財務諸表.....	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P 4
(2) 四半期連結損益計算書.....	P 6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P 8
(4) セグメント情報.....	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P 9
4. 製品別売上高.....	P10
5. 【参考】個別財務諸表（要約）.....	P11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、政府の緊急経済対策や海外での景気回復を背景とした輸出の増加から、景気は持ち直しの動きが見られるものの、個人消費の低迷や厳しい雇用状況が続くなど依然として厳しい状況が続きました。

自動車業界におきましては、国内は優遇税制等の継続の効果もあり、新車販売台数は増加しておりますが、政策支援に依存するところが大きいことから、底堅いものとは言えず、さらに国外は円高による販売の不確定要素やリコール問題等、取巻く経済環境はなお厳しい状況にあります。

このような厳しい経営環境の中、グループ一丸となり、「VISION2015」達成に向け、強固かつ高収益な体質づくりに更なる努力をしております。

**売上高**は、国内新車販売台数および輸出の増加などから189億4千万円となり、前期に比べ53億5千万円（前年同四半期比39.4%増）の増収となりました。製品部門別にみますと、軸受製品では76億3千万円（前期比64.2%増）、ダイカスト製品では31億1千万円（前期比9.5%増）、ガasket製品では、24億7千万円（前期比29.0%増）、組付製品他では41億1千万円（前期比50.3%増）、設備・金型製品では15億7千万円（前期比13.7%増）となりました。

**利益面**は、売上高が増加した結果、6億9千万円の営業利益（前期は11億9千万円の営業損失）、7億6千万円の経常利益（前期は9億6千万円の経常損失）、3億4千万円の四半期純利益（前期は7億8千万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10億3千万円増加し、390億8千万円となりました。これは、現金及び預金が13億8千万円増加したことなどによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて11億9千万円減少し、482億7千万円となりました。これは、有形固定資産が8億6千万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億6千万円減少し873億6千万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2千万円増加し、245億9千万円となりました。これは、未払費用の8億6千万円の増加と支払手形及び買掛金の6億円の減少などによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて3億6千万円減少し、195億円7千万円となりました。これは、長期借入金の1億8千万円の減少と退職給付引当金の1億6千万円の減少によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億4千万円減少し、441億円7千万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億7千万円増加し、431億8千万円となりました。これは、評価・換算差額等の控除額が1億4千万円減少したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州を中心とした金融市場の変動や雇用情勢悪化の懸念が依然残るなど、厳しい状況にあります。一方では、海外輸出の増加、個人消費の持ち直し等、景気回復の基盤が整いつつあります。

自動車業界におきましても、これまでない競争の熾烈化により、先行きは依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような経済状況および第1四半期の実績を踏まえ、当第1四半期連結会計期間において、第2四半期累計期間の業績予測を、連結・個別とも修正しております。

詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益及び経常利益への影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は、101百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,060	14,677
受取手形及び売掛金	14,378	15,105
有価証券	574	474
商品及び製品	1,886	1,705
仕掛品	1,524	1,468
原材料及び貯蔵品	2,348	2,326
繰延税金資産	1,080	1,020
その他	1,244	1,285
貸倒引当金	△8	△11
流動資産合計	39,089	38,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,204	24,067
減価償却累計額	△13,153	△13,009
建物及び構築物(純額)	11,050	11,057
機械装置及び運搬具	69,167	67,249
減価償却累計額	△51,870	△51,008
機械装置及び運搬具(純額)	17,297	16,240
土地	12,743	12,729
建設仮勘定	1,115	3,049
その他	13,833	13,729
減価償却累計額	△12,915	△12,819
その他(純額)	918	909
有形固定資産合計	43,126	43,987
無形固定資産		
無形固定資産	621	648
投資その他の資産		
投資有価証券	2,219	2,509
繰延税金資産	1,473	1,452
その他	877	919
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	4,526	4,838
固定資産合計	48,274	49,473
資産合計	87,363	87,527

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,793	10,402
短期借入金	999	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,624	1,658
1年内償還予定の社債	5,999	5,999
未払費用	4,514	3,651
未払法人税等	259	441
役員賞与引当金	36	123
その他	1,373	1,293
流動負債合計	24,599	24,570
固定負債		
長期借入金	16,524	16,709
繰延税金負債	379	438
退職給付引当金	1,624	1,794
役員退職慰労引当金	264	278
資産除去債務	108	—
負ののれん	457	555
その他	218	170
固定負債合計	19,576	19,945
負債合計	44,176	44,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,193	6,193
資本剰余金	9,662	9,662
利益剰余金	27,942	27,930
自己株式	△189	△189
株主資本合計	43,608	43,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	274	237
為替換算調整勘定	△1,125	△1,234
評価・換算差額等合計	△851	△996
新株予約権	77	87
少数株主持分	352	322
純資産合計	43,187	43,010
負債純資産合計	87,363	87,527

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	13,591	18,943
売上原価	12,495	15,707
売上総利益	1,096	3,235
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	170	212
役員報酬	84	86
従業員給料	572	542
賞与	143	198
退職給付費用	52	66
役員退職慰労引当金繰入額	30	24
役員賞与引当金繰入額	28	37
法定福利費	112	110
福利厚生費	126	112
旅費及び交通費	41	49
賃借料	87	84
貸倒引当金繰入額	12	2
減価償却費	81	71
研究開発費	359	553
その他	388	393
販売費及び一般管理費合計	2,292	2,545
営業利益又は営業損失(△)	△1,195	690
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	14	19
為替差益	75	—
持分法による投資利益	—	45
負ののれん償却額	97	98
助成金収入	100	—
その他	45	68
営業外収益合計	349	245
営業外費用		
支払利息	70	65
固定資産除却損	21	18
為替差損	—	57
その他	24	30
営業外費用合計	116	172
経常利益又は経常損失(△)	△962	764



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
新株予約権戻入益	—	17
受取保険金	—	5
退職給付制度改定益	—	27
特別利益合計	—	51
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	11	21
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	10	300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	101
特別損失合計	21	423
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△984	392
法人税、住民税及び事業税	18	216
法人税等調整額	△220	△189
法人税等合計	△202	26
少数株主損益調整前四半期純利益	—	365
少数株主利益	1	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△783	348

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用し、報告セグメントは、「自動車部品関連事業」、「自動車製造用設備関連事業」、「その他」としております。

## ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）（単位：百万円未満切捨）

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車部品 関連事業	自動車製造用 設備関連事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,344	1,575	23	18,943	—	18,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	319	353	△353	—
計	17,344	1,609	343	19,297	△353	18,943
セグメント利益又は損失（△）	1,903	△138	48	1,813	△1,123	690

(注) セグメント間取引消去によるものです。

各セグメントに属する主要製品・サービス

- (1) 自動車部品関連事業……………軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット製品、組付製品
- (2) 自動車製造用設備関連事業……………搬送装置、金型、溶接機、設備部品
- (3) その他……………物品の小売、作業改善コンサルティング、梱包等のサービス業

## ②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日) (単位:百万円未満切捨)

	自動車部品 関連事業	自動車製造用 設備関連事業	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,152	1,386	52	13,591	—	13,591
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8	239	247	△247	—
計	12,152	1,394	292	13,839	△247	13,591
営業利益又は 営業損失(△)	△443	△348	14	△777	△418	△1,195

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 自動車部品関連事業……………軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット製品、組付製品
- (2) 自動車製造用設備関連事業……………搬送装置、金型、溶接機、設備部品
- (3) その他……………物品の小売、作業改善コンサルティング、梱包等のサービス業

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 製品別売上高

(単位:百万円未満切捨)

			前年同四半期 (平成22年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成23年3月期 第1四半期)		前年 同期比 (%)
			金額	構成比	金額	構成比	
			百万円	%	百万円	%	%
自動車 部品	メタル		2,053	15.1	3,443	18.2	67.7
	ブシユ		1,888	13.9	2,790	14.7	47.7
	その他		706	5.2	1,400	7.4	98.2
	軸受計		4,649	34.2	7,633	40.3	64.2
	ダイカスト製品		2,847	21.0	3,118	16.5	9.5
	ガスケット製品		1,918	14.1	2,475	13.1	29.0
	組付製品他		2,737	20.1	4,116	21.7	50.3
	計		12,152	89.4	17,344	91.6	42.7
自動車製造用設備計	設備		1,139	8.4	1,276	6.7	12.0
	精密金型		246	1.8	299	1.6	21.4
その他		52	0.4	23	0.1	△55.2	
合計		13,591	100.0	18,943	100.0	39.4	

【参考】個別財務諸表(要約) (平成22年4月1日～平成22年6月30日)  
損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

科目	期別	前第1四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高		9,008	12,598
売上原価		8,163	10,745
販売費及び一般管理費		1,445	1,754
営業利益	△	600	99
営業外収益		161	313
営業外費用		82	122
経常利益	△	522	290
特別利益		—	21
特別損失		2	96
税金等調整前四半期純利益	△	524	215
法人税、住民税及び事業税	△	1	3
法人税等調整額	△	219	1
四半期純利益	△	303	211

## 貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

科目	期別	当第1四半期末 (平成22年6月30日)	前期末 (平成22年3月31日)
(資産の部)			
流動資産		24,753	23,777
現金預金		9,623	8,848
受取手形及び売掛金		9,730	9,643
その他		5,399	5,285
固定資産		41,808	42,419
有形固定資産		21,286	21,797
機械装置		8,447	7,005
その他		12,839	14,791
無形固定資産		303	321
投資その他の資産		20,218	20,300
合計		66,561	66,197
(負債の部)			
流動負債		15,340	14,790
固定負債		13,565	13,538
負債計		28,906	28,329
(純資産の部)			
資本金		6,193	6,193
資本剰余金		9,848	9,848
利益剰余金		21,489	21,615
自己株式	△	212	△ 212
その他有価証券評価差額金		257	335
新株予約権		77	87
純資産計		37,655	37,868
合計		66,561	66,197

\*開示した四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象にはなりません。